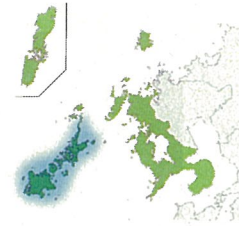


(6) 五島地域



① 海況の特徴

五島列島は、本県の西端に位置し、その長さは約150kmに及び、東は五島灘、西は東シナ海に臨み、広域な漁場を有しています。海岸線は大小100有餘の島々やリアス式海岸によって変化に富み、イセエビ等の磯根資源にも恵まれ、また養殖業に適した静穏域が形成されています。

黒潮本流から分岐して北上する対馬暖流と、列島付近にできる沿岸流との影響から、アジ類、サバ類、ブリ、ヨコワ(クロマグロの幼魚)、スルメイカ、タチウオ、アゴ(トビウオ)等の回遊が多く、西日本有数の好漁場を形成しています。

② 漁業の現状

五島地域では、ヨコワやタチウオを対象としたひき縄、アマダイ等を対象としたはえ縄、沿岸でのいか釣り等の釣り漁業が経営体数の大半を占めており、刺網、採貝・採藻、定置網がこれに続きます。このうち、スルメイカやブリ等が漁獲される定置網の経営体数123体は県全体の約35%を占め、五島地域の特色の一つとなっています。

生産量は県全体の約4分の1を占めていますが、ピーク期に比較すると約29%程度にまで落ち込んでおり、特に生産量の大半を占めるまき網漁業や海面養殖業における減少が顕著です。

ブルー・ツーリズム推進のため、平成21年度に

項目	単位	H10	H15	H20
総生産量	トン	151,636	97,552	79,497
海面漁業	トン	141,972	90,252	74,859
うちまき網漁業	トン	126,400	76,433	61,446
うち定置網漁業	トン	9,165	7,866	8,738
うち釣り漁業	トン	2,279	2,318	2,264
海面養殖業	トン	9,664	7,300	4,638
漁業就業者数	人	4,964	3,742	2,967

(資料:農林水産統計年報、漁業センサス(農林水産省))

五島市では魚の調理を行うための実習室や研修室等の体験施設が整備されました。

平成22年には中型まき網漁業の収益性改善を図る、漁獲から流通までの一貫した改革計画を作成し、国の認定を受け、今後経営改善に取り組んでいきます。

③ 地域の抱える主な課題

五島地域は、恵まれた漁場を持ちながらも、水産資源、漁業就業者、藻場の減少等により漁獲量が減り続けています。養殖業の生産量も減少しており、最近伸長しているマグロ養殖の経営安定が望まれています。五島周辺海域の優れた生産性を維持するためには、減少した藻場を再生する等の漁場づくりと、資源管理に積極的に取り組むとともに、漁村地域を活性化するため、未利用・低利用魚の加工による高付加価値化等の推進が必要です。



養殖マグロの出荷



研修中の長崎鶴洋高校生

④ 課題解決に向けた取組内容 ※第4章における基本目標に対応して色分けしています。

○漁獲量の減少	→	〈ア〉 資源管理による水産資源の維持・回復
○漁業就業者の確保	→	〈イ〉 漁業の将来を担う人材の育成
○藻場の減少	→	〈ウ〉 資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり
○伸長するマグロ養殖業の安定化	→	〈エ〉 収益性の高い養殖業の育成
○漁村の活性化	→	〈オ〉 地域資源の活用による漁村地域の活性化

〈ア〉資源管理による水産資源の維持・回復

五島周辺海域の水産資源の維持・回復および漁場管理体制を構築するため、藻場の再生や増殖場の造成等による資源の保護育成を図るとともに、漁業者による一層の漁業秩序形成と漁業監視体制の強化を推進します。

指標名	単位	H20(基準年)	H27(目標年)
海面漁業生産量	トン	74,859	74,900

〈イ〉漁業の将来を担う人材の育成

将来の五島の水産業を支える人材として、U・J・Iターン者等の新規就業者や漁家子弟の着業を支援します。

また、意欲ある漁業者や漁業士の活動支援を行うことで、地域を支える漁業者の育成と漁村の活性化を図ります。

指標名	単位	H17-21累計(基準年)	H23-27累計(目標年)
新規就業者数	人	131	140

〈ウ〉資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり

五島全域で、減少し続けている藻場を回復させるため、藻場造成を行い、海藻を食害する生物(ウニ類等)の駆除等に対する支援を積極的に行います。また、増殖場の造成等による幼稚魚の保護育成を推進します。

指標名	単位	H20(基準年)	H27(目標年)
海岸線の総延長に占める藻場の割合	%	12.6	18.1

〈エ〉収益性の高い養殖業の育成

福江島、若松島周辺で伸長しつつあるマグロ養殖を、将来に向けて安定した産業として育成するため、五島市、新上五島町、系統団体、漁協、生産者と一体となって、競争力の高い産地づくりに努めます。

指標名	単位	H21(基準年)	H25(目標年)
マグロ養殖の生産量	トン	129	662

〈オ〉地域資源の活用による漁村地域の活性化

五島地域の定置網等で漁獲されるスルメイカ、アゴ(トビウオ)、マアジ等の多獲性魚及び未利用・低利用魚等の資源を原料とした加工品の開発と販売力の強化を推進します。

指標名	単位	H21(基準年)	H27(目標年)
管内漁協における水産加工品出荷額	百万円	628	690